

第4期あきた伝統的工芸品等産業振興プランの概要

地域産業振興課

策定の趣旨

<目的>

伝統的工芸品等産業を育成・強化し、次代に引き継いでいくため本プランを策定し、産地・事業者(以下「産地等」という。)、市町村、県が一体となって伝統的工芸品等産業の振興に向けた取組を実施する。

<プランの位置付け>

新秋田元気創造プラン等の趣旨に沿って、伝統的工芸品等産業の振興を推進するための基本計画

<推進期間>

令和4年度から令和7年度までの4年間

現状と課題

1 現状

- ・生産額・企業数・従事者数が年々減少
- ・コロナ禍による売上げの減少
展示会や百貨店での催事中止、取引先の休業、インバウンド需要の落ち込み 等
- ・消費者の意識の変化
質の高い製品へのニーズや地域独自の文化を見直す風潮の高まり、「手しごと」に対する再評価 等

2 第3期プラン中の取組事例

- 産地等
 - ・知名度向上に向けた展示会の開催
 - ・ホームページ等販売ツールの作成
 - ・異素材やデザイナーと連携した新商品開発
 - ・技術力向上に向けた旋盤講習会の実施
 - ・新たな原材料・技術の研究 等
- 県
 - ・首都圏で行われる展示会への出展支援
 - ・県独自の伝統工芸士認定制度の創設
 - ・産地等・市町村の取組への補助 等

3 課題

- ・販売経路やPR体制の未整備
販売形態の変化に対する対応の遅れ、ブランド力不足 等
- ・需要の低迷
人口減少、生活様式の変化 等
- ・人材・後継者難と技術・技能の継承
熟練技能者の高齢化、新規就労者の確保難
- ・原材料の調達難
資源の枯渇、原材料価格の上昇 等

産業振興に向けた基本方針

1 PR体制の整備と新たな販路の開拓

- ・消費者ニーズの変化に対応したPR強化
- ・本県で開催される伝統的工芸品月間国民会議全国大会を通じた魅力発信
- ・実際に手に取って触れられる取扱い店舗等の開拓
- ・海外展開も視野に入れたEC・通販等への対応強化
- ・観光業・飲食業等と連携した販路拡大

3 産地の将来を担う人材の確保・育成

- ・「手しごと」を担う若手就労者の確保・育成
- ・従事者が安心して働き続けられる職場環境作り
- ・商品開発から販売まで、総合的にマネジメントできる次世代リーダーの育成

2 商品の魅力向上

- ・生活様式の変化によって生じたニーズをデザイン等に取り入れた新商品開発
- ・異業種と連携して行う新たな機能・用途開発
- ・産地間連携による秋田ブランドの確立
- ・歴史と伝統に基づく技術・サステナブルな魅力による商品力強化

4 生産基盤の安定

- ・技術・技能の伝承・保存
- ・手しごとの良さを残しつつ、生産工程の改善による利益確保
- ・原材料の安定確保に向けた情報収集、技術的課題の解決

それぞれの役割と主な取組

- 産地等 課題解決に向けた取組を主体的に企画・実施
- 市町村 地域の実情を踏まえ、産地等と一体となった産業振興事業の実施
- 県 産地等が行う課題解決に向けた取組に対し総合的に支援

<第4期プラン中に行う取組>

- 産地等
 - ・商品の魅力を伝え、販売までつなげるECサイトの構築
 - ・観光業等の異業種と連携して行う販路開拓・新商品開発
 - ・学生等のインターンシップ受入体制の強化 等
- 県
 - ・「手しごと秋田」ホームページ等によるPR強化
 - ・異業種との連携を促進するためのマッチング支援
 - ・支援機関と連携したデザイン力向上、マーケティング戦略策定への支援
 - ・産地または産地間連携による人材育成に向けた取組への支援
 - ・生産性向上や原材料確保等、生産基盤の安定に向けた取組への支援 等

<参考>

■国指定伝統的工芸品

- 「樺細工」「川連漆器」「大館曲げわっぱ」
- 「秋田杉桶樽」

■県指定伝統的工芸品

- 「川連こけし」「イタヤ細工」
- 「秋田銀線細工」
- 「大曲の花火」「中山人形」



中山人形(横手市)の指定書交付式(令和3年1月)

■第39回伝統的工芸品月間国民会議全国大会

- 開催地 秋田市(あきた芸術劇場 他)
- 日程 令和4年11月17日(木)～20日(日)
- 主催 秋田県伝統的工芸品月間推進協議会他(国等と共催)

※秋田県で初開催